

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道維持補修事業 （町道神田町巴町線 舗装修繕工事）	安芸太田町	8,857,200	8,857,200	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道維持補修事業 （町道畑ヶ谷線外1 路線舗装修繕工事）	安芸太田町	20,774,600	18,849,000	

Ⅱ．事業評価個表（令和５年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道維持補修事業（町道神田町巴町線舗装修繕工事）				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安芸太田町				
交付金事業実施場所		広島県山県郡安芸太田町大字加計				
交付金事業の概要		「第2次安芸太田町長期総合計画」において、日常生活や産業活動を支える道路網をつくることを主要施策項目に掲げており、個別施策の展開として安全な道路づくりと管理を行うことにしています。本路線は地域の主要道であり、応急的な舗装を行い維持管理をしてきたものの、長年の舗装の劣化によりひび割れやポットホールが多数発生しています。歩行者も多く地域住民や自転車の転倒、自動車やバイク事故の危険があります。安全な道路づくりと管理を行うため町道神田町巴町線748mの内、特に緊急性の高い228mの舗装工事を施工します。 ・舗装工 L= 228 m A= 1,140 m ² ・区画線＝実線15cm：230m、実線45cm：20m、矢印・記号・文字15cm：70m				
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第2次安芸太田町長期総合計画（平成27年度～令和6年度） 第4節【社会基盤・防災・防犯】 第1項快適な社会基盤が整うまちをつくります 1日常生活や産業活動を支える道路網をつくります 第2次安芸太田町長期総合計画後期計画（令和2年度～令和6年度） 第4節【社会基盤・防災・防犯】 施策13 快適で安全な道路網をつくります 個別施策033 安全な道路網の整備・個別施策034 安全な道路網の維持・管理 本事業が電源立地地域対策交付金により行われていることを安芸太田町ホームページで広報し、地域住民の電源開発への理解・協力及び発電用施設等の設置及び運転の円滑化に資することを目標とします。				
事業開始年度		令和5年度		事業終了（予定）年度 令和5年度		
事業期間の設定理由		単年度のため無				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標		成果指標		
		管理瑕疵による事故発生件数0件		成果実績		件
				目標値		件
				達成度		件
				0件	0件	
				100%		

	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、道路の舗装工事228mが施工できました。次年度に向けて、日常的なパトロール等による点検を定期的に実施し、管理瑕疵による事項発生件数0件を確認しました。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度
	舗装工事の延長	活動実績	m	228		
		活動見込	m	228		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和5年度		年度	年度	備考	
総事業費	8,857,200					
交付金充当額	8,857,200					
うち文部科学省分	-					
うち経済産業省分	8,857,200					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
町道舗装工事		一般競争入札		株式会社杉原土建（安芸太田町）		8,857,200
交付金事業の担当課室	建設課					
交付金事業の評価課室	総務課					

Ⅱ. 事業評価個表（令和５年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道維持補修事業（町道畑ヶ谷線外1路線舗装修繕工事）
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安芸太田町
交付金事業実施場所	広島県山県郡安芸太田町大字平見谷	
交付金事業の概要	「第2次安芸太田町長期総合計画」において、日常生活や産業活動を支える道路網をつくることを主要施策項目に掲げており、個別施策の展開として安全な道路づくりと管理を行うことにしています。本路線は物流が多く大型車両や交通量の多い路線です。交通量が多いため、舗装が剥がれ路面に段差が発生すると事故の危険性が高まります。このことから安全な道路づくりと管理を行うため町道畑ヶ谷線1,310mの内、特に緊急性の高い174m、町道細見畑ヶ谷線835mの内、特に緊急性の高い234mの舗装工事を施工します。 ・舗装工 L= 408 m A= 3,180 m² ・区画線＝実線15cm：820m、実線20cm：410m	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次安芸太田町長期総合計画（平成27年度～令和6年度） 第4節【社会基盤・防災・防犯】 第1項快適な社会基盤が整うまちをつくります 1 日常生活や産業活動を支える道路網をつくります 第2次安芸太田町長期総合計画後期計画（令和2年度～令和6年度） 第4節【社会基盤・防災・防犯】 施策13 快適で安全な道路網をつくります 個別施策033 安全な道路網の整備・個別施策034 安全な道路網の維持・管理 本事業が電源立地地域対策交付金により行われていることを安芸太田町ホームページで広報し、地域住民の電源開発への理解・協力及び発電用施設等の設置及び運転の円滑化に資することを目標とします。	
事業開始年度	令和５年度	事業終了（予定）年度 令和５年度

事業期間の設定理由	単年度のため無					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標			評価年度	令和6年度
	管理瑕疵による事故発生件数0件	管理瑕疵による事故発生件数	成果実績	件	0件	
			目標値	件	0件	
			達成度	件	100%	
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、道路の舗装工事408mが施工できました。次年度に向けて、日常的なパトロール等による点検を定期的 to 実施し、管理瑕疵による事故発生件数0件を確認しました。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度
	舗装工事の延長	活動実績	m	408		
		活動見込	m	408		
		達成度	%	100%		
交付金事業の総事業費等	令和5年度		年度	年度	備考	
総事業費	20,774,600					
交付金充当額	18,849,000					
うち文部科学省分	-					
うち経済産業省分	18,849,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
町道舗装工事		一般競争入札		株式会社植地組（安芸太田町）		20,774,600
交付金事業の担当課室	建設課					
交付金事業の評価課室	総務課					